

社会資本総合整備計画（水の安全・安心基盤整備） 事後評価書（事後評価）

平成29年3月24日

計画の名称	下水道の普及による快適な暮らしの環境づくり		
計画の期間	平成23年度～平成27年度（5年間）	交付対象	千葉県 鎌ケ谷市
計画の目標	公共下水道整備を行い、安全・安心、快適な暮らしを実現し、水環境や生活環境を改善する。		

計画の成果目標（定量的指標）	・下水道処理人口普及率を55.2%から60.0%に増加。
----------------	------------------------------

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値			備考						
	当初現況値 (H23当初)	中間目標値 (H25末)	最終目標値 (H27末)							
鎌ケ谷市総人口のうち、公共下水道（汚水）が使用可能な人口の割合 下水道処理人口普及率＝（処理区域内人口）／（行政区内人口）	55.2%	57.0%	60.0%							
全体事業費	合計 (A+B+C)	1,100百万円	A	1,028百万円	B	0百万円	C	72百万円	効果促進事業費の割合 C／(A+B+C)	6.5%

事後評価（中間評価）

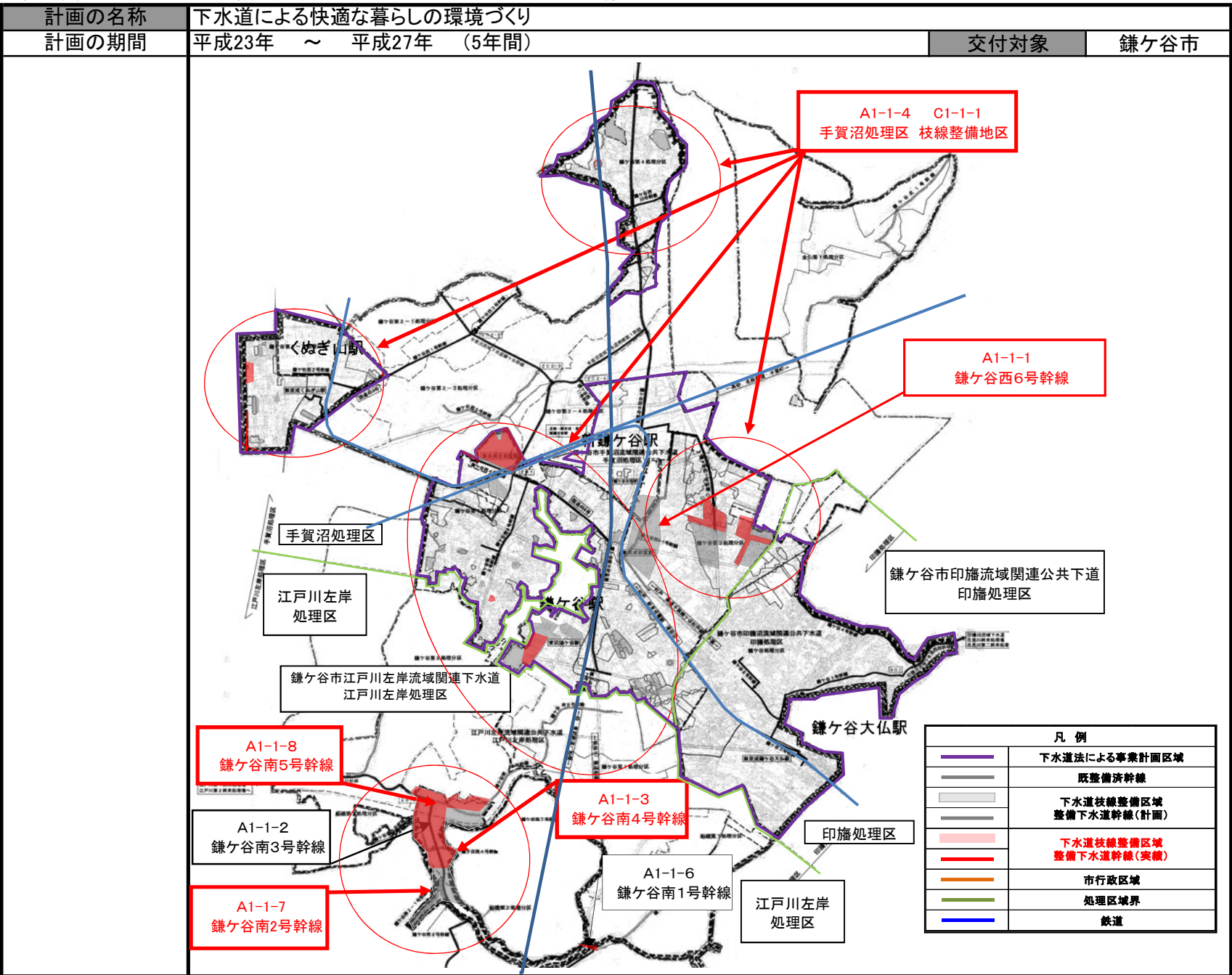
○事後評価の実施体制、実施時期	事後評価の実施時期
事後評価の実施体制	平成29年2月
鎌ケ谷市下水道事業に関する評価委員会を開催し、評価を実施。	公表の方法
	鎌ケ谷市ホームページで公表



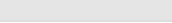






1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業																		
A1 下水道事業																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	事業及び施設種別	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考	
											H23	H24	H25	H26	H27			
A1-1-1	下水道	一般	鎌ケ谷市	直接	—	汚水	新設	鎌ケ谷西6号幹線（未普及解消）	L= 286.0m L=1,220.6m	鎌ケ谷市						70 10	実施設計	
A1-1-2	下水道	一般	鎌ケ谷市	直接	—	汚水	新設	鎌ケ谷南3号幹線（未普及解消）	L= 220.0m L= 0.0m	鎌ケ谷市						60 0		
A1-1-3	下水道	一般	鎌ケ谷市	直接	—	汚水	新設	鎌ケ谷南4号幹線（未普及解消）	L= 220.0m L= 289.8m	鎌ケ谷市						60 54		
A1-1-4	下水道	一般	鎌ケ谷市	直接	—	汚水	新設	手賀沼処理区 枝線整備（未普及解消）	A= 26.0ha A= 16.0ha	鎌ケ谷市						630 592		
A1-1-6	下水道	一般	鎌ケ谷市	直接	—	汚水	新設	鎌ケ谷南1号幹線（未普及解消）	L= 130.0m L= 0.0m	鎌ケ谷市						49 0		
A1-1-7	下水道	一般	鎌ケ谷市	直接	—	汚水	新設	鎌ケ谷南2号幹線（未普及解消）	L= 80.0m L= 373.4m	鎌ケ谷市						29 126		
A1-1-8	下水道	一般	鎌ケ谷市	直接	—	汚水	新設	鎌ケ谷南5号幹線（未普及解消）	L= 500.0m L= 19.9m	鎌ケ谷市						130 12	接続管	
											合計					1,028 794		
B 関連社会資本整備事業																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考		
										H23	H24	H25	H26	H27				
なし																		
											合計							
番号	一体的に実施することにより期待される効果																備考	
C 効果促進事業																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考		
										H23	H24	H25	H26	H27				
C1-1-1	下水道	一般	鎌ケ谷市	直接	—	新設	手賀沼処理区 枝線整備	L=450m	鎌ケ谷市							72 66		
											合計						72 66	
番号	一体的に実施することにより期待される効果																備考	
C-1-1	基幹事業である幹線と接続する枝線整備を一体的に行うことにより、効率的な事業促進、普及促進を図る。																	

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況					
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	下水道管渠整備により、下水道処理人口普及率が62.8%（平成27年度末）まで上昇した。				
II 定量的指標の達成状況	<small>目標値</small> 鎌ヶ谷市総人口のうち、公共下水道（污水）が使用可能な人口の割合	最終目標値	60.0%	<small>目標値と実績値に差が出た要因</small>	江戸川左岸処理区において、平成27年11月の市川幹線の完成に併せ、西道野辺地区で人口約2,800人の大規模団地を集中浄化槽から下水道接続へ切り替えを行い、大幅な普及人口の増加につながった。
		最終実績値	62.8%		
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)					
3. 特記事項 (今後の方針等)					
平成27年度に策定した汚水処理施設整備計画に基づき、公共下水道整備を進め、公衆衛生の向上と公共用水域の保全に資するため、引き続き当該交付金を活用していく。特に未普及人口を多く抱える手賀沼処理区においては、鎌ヶ谷西6号幹線の未整備区間の工事を進める。					

(参考様式3) (参考図面)水の安全・安心基盤整備



凡 例	
	下水道法による事業計画区域
	既整備済幹線
	下水道枝線整備区域 整備下水道幹線(計画)
	
	下水道枝線整備区域 整備下水道幹線(実績)
	
	市行政区域
	処理区域界
	鉄道